

宇工高同窓会々報

同窓会長挨拶

同窓会長

増 淵 芳 男



新年を迎え御祝辞申し上げます。

本校も四月二十日には創立八十四周年を迎え、同窓会も三万壱千余名に達し、地元もとより全国各地の産業界に於いて、「一人は一校を代表す」の校訓を堅持、終生忘れ得ぬ心得として頑張り続けていくものと存じます。

最近の不況に依る生徒達の就職や進学の達成が大変な事かと存じますが、諸先生方、宜しく御指導の程御願ひ申し上げる次第です。

本校は科学技術高校化構想に依り、近いうちにワンランク上の工業高校として移転される事を心より御願ひする次第です。素晴らしい伝統の上に新しい高度な技術を学び、二十一世紀にふさわしい工業人となる様努力される事を期待致します。

本校は昨年十月二十日、東京飯野ビルにてISO取得事業所に3R推進功労者の中で最優秀事業者として総理大臣表彰を受賞、誠に感激に耐えない次第で、終生忘れ得ぬものと存じ同窓の皆様へ報告致します。

最後に母校の更なる発展と同窓会会員の絆が益々強くなる事を祈念し、会員の皆様の御健康と御多幸を祈念申し上げます。私の挨拶といたします。

今後に向けて

学校長

宇賀神 文 雄



同窓会の皆様には、平素から本校の教育振興と在校生のために特段の御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成18年度も残り僅かとなりましたが、今年度は本校にとつて素晴らしい出来事がありました。それは本校の環境ISO14001の取り組みが評価され、3R推進協議会より内閣総理大臣賞を受賞したことです。表彰式は、千代田区内幸町のイイノホールで行われ、お忙しい中を会長の増淵芳男様にも御出席いただき

発行所
宇都宮市京町9番25号
電話 (028) 633-0451
宇都宮工業高校
同窓会事務局

きました。受賞団体に東芝、キャンオンをはじめ、大手の建設会社等、一流企業が数多く顔をそろえ、その中で最高の賞であり、本校にとつては誠に名誉なことでした。また、受賞後、生徒会長の永吉君と環境委員長湯浅君が教育長と知事を表敬訪問し、親しく歓談させていただいたことは、両君にとつて今後の人生に生きたる貴重な体験となりました。

なお、今年度からISO活動費の一部を同窓会より援助していただくことになりました。まさにその年に、このような重みのある賞を頂いたことに不思議な巡り合わせを感じるとともに、賞を励みにして、また、会員の皆様の援助をエネルギーにして、全国に誇れる特色ある教育活動に育てていかななくてはならないと決意を新たにいたしました。

先日、宇短大付属高校の須賀淳校長先生から、一冊の本を頂きました。書中に宇工について触れた部分がありました。須賀校長先生の父上の友正先生が本校創立2年目から数学の教師として教壇に立たされたこと、本校の校歌を作曲されたこと、本校初代校長安先生から絶大の信頼を受け、

また、生徒から慕われた教師だったこと等でした。特に文中の『教え子の一人に設計事務所を開いている鈴木潤がいた。戦災で焼失した宇都宮須賀女学校の講堂を再建する時、友正は設計を鈴木に頼んだ。講堂ができあがった時に設計料を払おうとしたが鈴木は受け取らなかった。友正は芸術院会員の伊東深水に富士山の50号の絵を描いてもらい鈴木に贈った。鈴木は「有り難く頂きました。この絵は頂いた上で改めて学校に寄付致します」と言った。友正は目頭が熱くなった。この絵は現在も校長室に飾られている』という一節に胸に来るものがありました。この一節から、

本校が創立当初から人とあるべき姿を伝える人らしい同窓生が輩出されてきたのだと改めて感じた次第です。我々教職員は原点に立ち返り、創立当初から行われてきた人間教育の大切さを肝に銘じて工業教育・特色ある教育を展開し、会員の皆様に恥じない生徒たちを世に送り出していかなければならないと意を強くしたところです。

会員の皆様のお一層の御支援・御指導をお願い致します。

1年間を振り返って

バスケットボール部監督

千村 隆

平成18年1月県下高校新人バスケットボール大会において45年ぶりに優勝することができました。一重に学校関係者、同窓会、保護者の御協力によるものだと心より感謝申し上げます。選手たちはこの優勝に満足することなく毎日、朝練習、午後練習と練習に励み続け高校総体においても優勝し新人関東大会に続き、6月の関東大会にも出場を果たしました。

インターハイに出場したものの一回線で敗退した。この教訓を生かし選抜までの約3か月、走り込みを中心に練習を積み重ねてきました。県大会においては大差で優勝し全国高校選抜大会に出場することになりました。本校にとっては初出場であり、私は13回目の選抜出場ではあいました。が新たな気持ちで臨みました。1回戦の相手は高岡工芸(富山)、4年連続出場の中堅クラスチームであり192cmの長身選手を中心としたスピードある好チームでしたが本校は最後まで粘り、第4ピリオドに一気に離し88対79で全国初勝利を収めることができました。多くの皆様の応援を頂き選手には心強かったと思いま

す。また前校長岡田義治先生にも応援に駆け付けていただき心より感謝申し上げます。2回戦はインターハイ準優勝の洛南(京都)と対戦しました。第1ピリオド宇工らしいバスケットでリードを奪い、検討したが相手の高さの前に、102対70で敗れました。



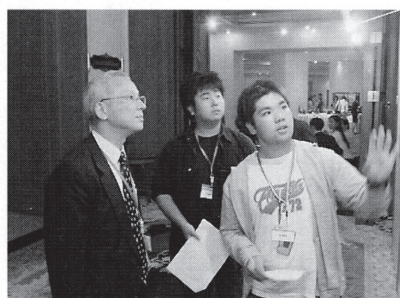
負けはしたが全力で挑むことができたと思います。この経験を活かしてこれからも生かし、より強いチームを目指し頑張ります。ちなみに選抜大会は洛南が他を寄せ付けず優勝しました。本校生もやればどういかなることを知った大会であったと思います。これから応援よろしくお願いします。

国際会議に参加して

土木研究クラブ

平成18年10月16日から18日までバンコクで開催された第3回アジア・太平洋地域の水

文学及び水資源に関する国際会議(APHW)に参加してきました。この会議のテーマは「持続的発展と貧困の撲滅に向けた賢明な水資源の管理」で、



サブテーマが6つあり、この一つに教育分野がある。水に関する教育分野として、環境紙芝居の効果について、ポスター形式での発表となった。参加者は研究者、大学の先生、民間の研究者など総勢約500名であった。

発表の日はホテルの会議室前に発表用のブースを用意され、ここに制作したポスターを貼り、訪れた方に説明をした。会議に参加した生徒は、土木科3年の喜久、古谷津、宇田川君で、会議はすべて英語のため、ポスターも英語で作成、事前に英語の学習や発表を練習していった。

この会議への高校生の参加は初めてらしく参加者の大きな関心呼び、活発な質疑が

行われた。世界的にみて、高校生のこのような活動はあまり例がないらしく、高く評価された。(文責: 桑川)

ボクシング部の活動紹介

本校のボクシング部は全国的にみても長い歴史があり、その間、数々のすばらしい成績を残してきました。ここ数年は5名前後の部員数で活動をしており、関東大会や関東7県選抜大会へ出場するなど的好成绩をあげています。指導者は監督として5年目を迎えたインテリア設備科の片山正人先生と、外部指導者として廣瀬清隆コーチを招いています。廣瀬氏は本校の卒業生でもあり、在学中はインターハイで優勝するなどの実績を持っています。

- 平成18年度
- ◇県高校総体・モスキーノ級 優勝 須藤 貴之(建築科)
- ◇関東大会・モスキーノ級Aブロック2位 須藤 貴之

精密加工に関する国際会議

- 生産システム研究部
- 電子機械科3年 田所 裕貴
- 電子機械科2年 鈴木 康史

平成18年11月に関西大学で開催された「第8回バリ取りと表面仕上げに関する国際会議」において「ダイヤモンド

砥石を用いた人工水晶の精密スライシング」を発表してきました。携帯電話の需要が急速に増加する中、正確かつ迅速に水晶発振子を作ることが世界的に要望されています。



研究は1年以上前から顧問の蓮田裕一先生が県立産業技術センターにほぼ毎日、引率して下さりました。国際会議では英語で発表するのですが、英語は苦手なので英語科の杵淵先生に放課後、単語の発音・アクセントなどを丁寧に教えてもらいました。

国際会議に参加して、国際的なコミュニケーションや英語の大切さがわかりました。国際会議で高校生が発表するなんて今までに前例が無く、無謀な挑戦かもしれません。しかし、今後も研究を続け、世界的な広い視野を持った工業技術者になりたいと思えます。

宇工生の活躍に関する新聞記事

削減・再使用・再資源化 3Rを推進

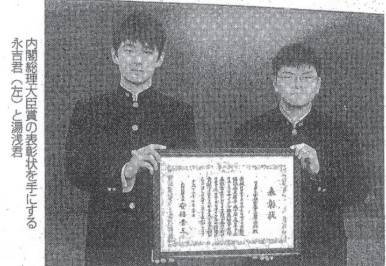
宇都宮工高に総理大臣賞

6年間可燃ごみ58%削減

【宇都宮】宇都宮県立宇都宮工業高等学校（以下「宇都宮工高」）は、本校が初めて「ISO14001」環境取得に成功し、生徒会を中心に「可燃ごみ削減」を推進し、6年間で可燃ごみ58%削減したことが、総理大臣賞を受賞した。

表彰は、環境省が主催する「環境省賞」に選出された。宇都宮工高は、環境省の奨励を受け、1999年度に「ISO14001」環境取得に成功し、生徒会を中心に「可燃ごみ削減」を推進し、6年間で可燃ごみ58%削減したことが、総理大臣賞を受賞した。

表彰は、環境省が主催する「環境省賞」に選出された。宇都宮工高は、環境省の奨励を受け、1999年度に「ISO14001」環境取得に成功し、生徒会を中心に「可燃ごみ削減」を推進し、6年間で可燃ごみ58%削減したことが、総理大臣賞を受賞した。



内閣府環境大臣賞の表彰状を手にする
本音君（左）と浦君（右）

下野新聞
2006年(平成16年)10月25日(水曜日)

の組合が関連していることが分かった。宇都宮県環境委員（委員長は一人一人）は、宇都宮工高の取り組みを高く評価している。

宇工高の技術 世界へ

携帯電話部品の 研削切断 研究

国際会議で論文発表

田所裕貴君(3年) 鈴木康史君(2年) メーカー並み 成果に自信

9日 大阪

宇都宮工業高等学校の生徒が、11月7日(火曜日)に、アジア国際会議で論文発表する鈴木君(右)、田所君(中央)と東田君(左)。

宇都宮工業高等学校の生徒が、11月7日(火曜日)に、アジア国際会議で論文発表する鈴木君(右)、田所君(中央)と東田君(左)。

平成18年度の進路について

進路指導部 蓮田 裕一

1 急伸した求人件数

図1に示したように本年度の求人企業社数は昨年の530社を大きく上回る702社に達し、30%以上増加しました。さらに、1社当りの募集人員も大幅に増加しており、近年まれに見る「売り手市場」と言えるでしょう。県内の他の工業高校が80%近く就職しているのに対して、進学の場合が多いのも本校の特筆すべき点です。

2 指導体制の確立が望まれる進学

最近、本校の進学、特に国立大学の進学に対する問い合わせが全国の工業高校やマスコミから多くなりました。バブル崩壊後の不景気による就職難といった時代の流れの中で本校が国立大学を視野に入れた進学指導が高い評価を得ているからです(図3参照)。10年前は専門学校進学者が75%を超えていましたが、現在は4年制大学を主体とする進学に変貌しています。本年度の進学については大学に87名・短大7名・専門学校11名・専門学校に43名が決まっています。

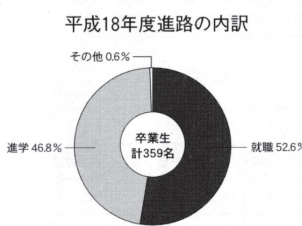
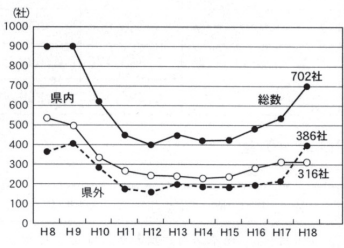


図2 就職者数と進学者数の割合

き点です。急伸した求人件数の効果もあり、3年ぶりに就職者が進学者を上回りました(図2参照)。

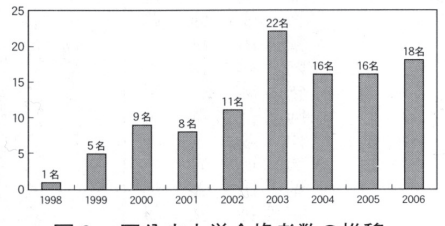


図3 国立大学合格者数の推移

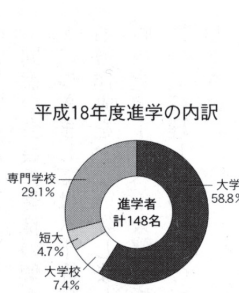


図4 進学内訳

定しています(図4参照)。もの作りやコンテスト参加に代表される「特別活動」が、これまで進学実績を押し上げてきた大きな要因の一つですが、進路別・コース別の導入やカリキュラムの整備など、進学指導体制の確立を行い、そのコースやカリキュラムに添った補習体制などの学習システムの構築が必要であると考えています。

就職と進学双方の選択肢をより充実することで本校生徒の進学希望を実現したいと思います。

平成17年度収支決算報告

平成18年度予算(案)

(1) 一般会計

収入金 6,854,240円
支出金 2,648,024円
残金 4,206,216円

自 平成17年4月1日
至 平成18年3月31日

(1) 一般会計

収入金 8,249,383円
支出金 8,249,383円
残金 0円

自 平成18年4月1日
至 平成19年3月31日

■収入の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(△), 備考. Rows include 繰越金, 永久会員費, 入会金, 教育活動後援費, 雑収入, 計.

■収入の部

Table with 5 columns: 科目, 17年度予算額, 18年度予算額, 増減(△), 備考. Rows include 繰越金, 永久会員費, 教育活動後援費, 雑収入, 計.

■支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(△), 備考. Rows include 会議費, 事務局運営費, 渉外費, 事業費, 教育活動後援費, 慶弔費, 予備費, 計.

■支出の部

Table with 5 columns: 科目, 17年度予算額, 18年度予算額, 増減(△), 備考. Rows include 会議費, 事務局運営費, 渉外費, 事業費, 教育活動後援費, 慶弔費, 予備費, 計.

(2) その他

①基金

Table with 2 columns: 基金, 100,000,000. Includes 足利銀行, 栃木銀行, 農林中央金庫, etc.

※基金利子については一般会計に組み入れる

(2) その他

①基金

Table with 2 columns: 基金, 100,000,000. Includes 足利銀行, 栃木銀行, 農林中央金庫, etc.

※基金利子については一般会計に組み入れる

同窓会定期総会報告

平成十八年度総会は平成十八年六月二十五(土)、ホテル東日本宇都宮にて開催されました。平成平成十七年度決算及び、平成十八年度予算案が掲載してありますのでご覧下さい。

一 会則規約の一部改正

同窓会長賞については、毎年総会資料に掲載されていますが、今年度の総会にて一部改正が認められました。新規約につきましては、平成十九年度の総会時に掲載する予定です。

一 母校に対する援助

本校ではISOの認証取得し全校で取り組んでいます。つきましては、移行審査を始め経費も必要となり、学校側より経費補助の要請が有り、平成十八年度の総会時に承認されました。

受章おめでとうございます

◇瑞宝小授章 阿部 英夫氏 (建築科昭和二十年卒業)

◇旭日中授章 吉成 健蔵氏 (定普通科昭和二十八年卒業)

◇旭日小授章 伊藤 誠氏 (定械科昭和三十一年卒業)

◇黄綬褒章 半貫 一芳氏 (建築科昭和三十六年卒業)

同窓会事務局からお願い

一 名簿の管理について
同窓会会員の皆様の個人データにつきましては八十周年時に名簿作成をお願い致しました(株)廣済堂データベース部が責任を持って管理していますので心安下下さい。尚、個人データの消去を希望される会員の方は葉書にて、ご一報下さい。

平成18年度役員

Table listing board members: 会長 (長夫), 副会長 (久津), 監査 (芳典), 顧問 (増山), 参事 (阿久).